



News Release

2021年2月8日
株式会社リボミック
あすか製薬株式会社

各 位

リボミックとあすか製薬の共同研究に関する 共同研究開発契約締結のお知らせ

株式会社リボミック（東京都港区、代表取締役社長 中村義一、以下「リボミック」）とあすか製薬株式会社（東京都港区、代表取締役社長：山口 隆、以下「あすか製薬」）は、この度、新薬の創出を目指し、特定のホルモン受容体を標的とした創薬研究開発に関する複数年間の共同研究開発契約を締結しましたのでお知らせします。

本研究は、核酸医薬の一種「アプタマー医薬」の開発を目的とする、創薬プラットフォーム系バイオベンチャーであるリボミックと、「競争力のあるスペシャリティファーマ」という経営ビジョンを掲げ、新薬を柱に医薬品の開発を積極的に推進するあすか製薬の意図が合致したことから、本契約の締結に至りました。

あすか製薬では産婦人科領域の疾患に対する医薬品開発に注力しており、リボミックの創薬基盤技術である「RiboART システム」を用いて、産婦人科領域で重要な役割を担う特定のホルモン受容体に作用するアプタマー医薬品の創成を目指します。

本契約の締結に伴い、あすか製薬はリボミックに対して研究ステップ毎の研究費を支払います。リボミックはまた、共同研究の一定の成果に応じたマイルストーン達成に伴う一時金を受け取る権利を得ます。尚、具体的な達成条件や金額等につきましては、契約上、非開示とさせていただきます。

本件によるリボミックおよびあすか製薬の2021年3月期業績への影響は軽微です。

以 上

株式会社リボミックについて

創薬バイオベンチャーとして、次世代医薬品としての開発が期待されるアプタマー医薬品の開発をコアな事業として、疼痛、眼障害、骨疾患など、幅広いアンメットメディカルニーズをターゲットとして創薬に取り組んでいます。また、当社の RiboART システムを創薬以外の分野にも応用し、アプタマーの医薬品以外での新規用途開発にも取り組んでおります。詳細については、<http://www.ribomic.com> を参照ください。

あすか製薬株式会社について

1920年の創立以来、「先端の創薬を通じて、人々の健康と明日の医療に貢献する」の経営理念のもと内科・産婦人科・泌尿器科の重点3領域に経営資源を集中させ、新薬を中心とした医薬品の開発を積極的に進め、医療ニーズ解決に努めています。詳細については <https://www.aska-pharma.co.jp/> をご覧ください。